

2-08 艇の持ち方、運び方

1 艇の運搬の基本

●ボートは長くてリガーが張り出しているので、まわりの人や物に当たらないよう、注意して声をかけながら運びます。また、上下の振動をできるだけ少なくして運びます。艇を差し上げたり、回らす（裏にしたり表にしたりする）ときは、声をかけてタイミングを合わせます。合わせないと、ボートが傾き地面に接触します。

●ダブルスカルは、ボートの端ではなく、端から2mあたりを持って運びます。



ダブルスカルは、前後デッキの中央～中寄りで持ちましょう

●シングルスカルは、デッキを下にシートを頭に載せるか、横にしてガンネルを肩に載せて運びます。ハルを下にして肩にかつぐのは、ハルを傷めやすいので、細心の注意が必要です。慣れないうちは、2人で両端から1m～2m内側を持つか、補助をつけて運びます。

●パラロウイング用のフォアを運ぶときは、コックスが適切に誘導すれば、どのポジションでもかまわないでしょう。安全のために、視覚障害のある漕手をミドルポジションに置くこともあります。体格差に配慮して、身長順に並ぶとか、体力差に応じてバランスをとることも大切です。

2 舵手は艇全体を見渡せる位置で、声だけで

●コックスはボートから少し離れて、常に全体を見ることのできる位置に立って、大きな声で漕手に指示を出してボートを運びます。

●もし、コックスの声がよく聴こえないときは、「聴こえない!」ということを知らせましょう。